

# 事業内容を精査し 効果的な財政運営を

3月定例会質疑では、事業の効果や今後の考え方、取り組み方など、議員からさまざまな意見や指摘が出されました。  
その中の一部を紹介します。

## バナナ事業

### 今後の取り組みは

小磯利雄議員

(株) 広野町振興公社のバナナ事業は平成28年度に開始し、昨年度は1600万円の赤字となっております。民間の株式会社ややってきたことを町が引き継ぐ。要するに、民間会社の尻拭いを町がするのようになっていますか。

小松復颯企画課長

全員協議会においても、新たな投資、規模拡大は行わない旨、説明しています。  
赤字を引き継ぐ形とはなりますが、町としてはバナナ事業が地域の魅力を発信する事業と認識しており、産総研の地中熱の実証実験も実施していることから、この期間はバナナ事業を継続し、ふたば未来学園と連携した事業を継続していきたいと考えています。



バナナ事業を行うトロピカルフルーツミュージアム

## 下水処理場

### 処理能力は十分か

渡邊 正俊 議員

下水処理場の処理能力と現在の処理状況は、能力に対して何%くらいですか。

処理エリア内の一般住宅でも、合併浄化槽で対応しているところがありますが、今後、駅東側に造成している団地が下水道に接続しても、処理能力が十分に対応できますか。

松本 建設課長

現在の下水処理場は2,000トンの処理能力を有しており、現在1,400トンを処理しており、稼働率としては75%となっています。

駅東の開発計画の段階で処理能力の確認はしており、駅東側開発エリアを接続しても、問題なく処理できます。

## ふるさと応援寄付金

### 総務省の指示内容は

小磯利雄議員

ふるさと応援寄付金の返礼品について、総務省から指示があったと聞いていますが、何があったのですか。

猪狩 産業振興課長

ふるさと応援寄付金については、納税額に対する返礼品の経費を5割以下にする決まりがあります。令和3年度において、その経費割合が65%になったことが報道され、全国で1番でした。

要因は、農家を支援するため、なるべく高く米を購入したことで、経費が高んだ部分がありました。

さらに、米の重量に対する送料が高く、遠方であればあるほど経費が高んだことが実情です。

令和4年度は、返礼額と米の調達額を見直し、経費の割合を下げようという努力をしています。

## 黒田政徳議員のご逝去



黒田政徳議員(満66歳)が去る令和5年3月21日にご逝去されました。

平成15年4月に、郷土を愛する情熱と使命感から町政に参加することを決意され、地域の皆さんからのご支持を得て、広野町議会議員に初当選され以来、5期20年にわたり、広野町政の枢機に参加し、地方自治の発展と住民福祉増進のため常に広域的な視野に立ち、住民本位の政治理念のもとに諸施策の議決機関の一員として、積極的に町執行部と一体となり、町勢進展に大きな足跡を残されました。

この間、平成19年5月から8年にわたり監査委員を歴任され、平成27年11月からは議長として地方自治の振興と発展に寄与されました。

令和元年11月からは議会運営委員会委員長としてご尽力され、優れた識見と円熟した人格により、議会運営、町政運営に際しても、信望を集めておられました。

ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

## 議会運営委員会 役員の変更

令和5年4月7日に開催した議会運営委員会において、委員長及び副委員長が選任され、委員長に門馬巧議員、副委員長に畑中大子議員が就任しました。

### 議会運営委員会

委員長	新	門馬 巧 議員	副委員長	新	畑中 大子 議員
	旧	黒田 政徳 議員		旧	門馬 巧 議員



令和3年度返礼品 ひろの米